

多文化関係学会 2019年度 第2回理事会 議事録

日時：2019年7月7日（日）12時半～14時

場所：近畿大学東大阪キャンパス C館1階111教室

出席：田崎、田中、岡部、畠中、岡村、内藤、小坂、馬場、山本、出口、湊

欠席：金本、武田、松井、宇治谷、江藤、小林（委任状あり、敬称略・順不同）

記録：馬場

議事次第

報告事項

1. 事務局長からの報告

- ・会員数は前回より4名減少（8名除籍の分と、新会員が4名）で計303名。
うち正会員230名、シニア会員4名、学生会員69名。

2. 地区研究会委員会からの報告

- ・北海道・東北地区：6月22日に藤女子大にて開催されたことが報告された。
- ・中部関西地区：7月7日に近畿大学にて開催予定であることが報告された。
- ・その他地区：報告なし

3. 第18回年次大会委員会からの報告

- ・査読が終了し、今後抄録が作成される予定。
- ・8月31日17時締め切り。執筆要項を前年度より変更し作成した。
- ・大会のチラシ・ポスターを作製した。配布できる学会があったらお願いしたい（送付したい）。

学会誌編集委員会からの報告

- ・16号の編集中。7月23日に今年度第2回の編集委員会開催予定。現在、査読結果待ち。

4. 学術委員会からの報告

- ・現在、全国大会のシンポジウムの話し合いが行われている。大テーマとの整合性を図りつつ新しい取り組みも提示できればと討論している。

その他

- ・なし

審議事項

1. 第19回年次大会について

- ・主催校無しの形なので大会委員を別途設けて開催の形式だが、予算による。
- ・福島で開催した際、当日変更がかなりあったという反省から、沖縄の場合は事前に理事が赴

き、下調べする必要がある事が指摘された。

- ・出席者は例年 70~80 人位。琉球大学等、沖縄に会員がいないか調べる事が提案された。

2. 会員からの問い合わせに関して

- ・事務局メールに問い合わせ。様々なものが 1 つに来るので対応を一本化にすることが審議され、承認された。
- ・m_admin 宛に送られてきたメールを発信専用とすることが提案され、承認された。
- ・会費に関する事は、これまでは事務局から委託業者へ連絡するように会員に伝えていたが、二度手間になるので、一律転送する（業者に）という対応を 2 か月ほど試行してみたいという提案があり、承認された。
 - ・退会の手続きについて WEB サイトに書かれていないが、どう連絡すべきか。会費支払い期限も掲載すべきでは。3 月 31 日に自動更新されるとはどこにも書いていない。明記した方がいい。NL に記載があるので WEB サイトに載せた方がいい。ただし、簡単に退会できるようにするのではなく、アクセライトの問い合わせ先を載せる等の形式にする。委託費変動に関しては 2-3 か月様子を見て後日検討。
- ・予算のめどが立てやすくなるため学会費の期限を明記してはという意見があり、締め切りを 6 月 30 日には提案が出て承認された。

3. その他

- ・今年郵貯の大会用口座に払った人がいたため、口座間違いや、二重支払いなどの際の返金手数料は会員本人にすることが提案され、承認された。
- ・年次大会スケジュールリングについて。関連学会との事前調整はできないか（日程調整）という質問が出された。回答として、今年は 1 週間ずらしたが、遠方の場合は合同開催するという方法も 1 つではないかという提案がなされた。

【今後の本学会のアイデンティティや、個別研究間の関連、議論の活性化について】

- ・前回の理事会で田崎先生から、もっと知見を蓄積すべきと問題提起がなされた。この問題提起に関して、学会誌・年次大会のあり方、会員間の学術連携やシナジーを作るための仕組み、研究成果の web での発信等について議論がなされた。その結果、学術委員会の体制を拡充すること、学会設立 20 周年を機に、何らかの形で設立から現在までを振り返る機会を設けること、研究成果物について web 上での発信が可能となるよう、技術上の可能性を確認することについて合意した。

(終)

* 第 3 回理事会（第 18 回年次大会にて開催予定）

以 上